

教育実習（後期）が始まりました。

10月8日（火）

丹波市新人大会で唯一開催が10月となっていた陸上競技大会が土曜日に行われました。10月1日より教育実習（後期）が始まりました。本校の卒業生1名が英語の実習生として頑張っています。本来なら5月から6月にかけて実施する予定でしたが、人数が多く、10月にも実施しています。中間テストが終了し中間テストが返却されていると思います。学習の仕方として最近目は目からの情報だけで暗記をしようとする生徒が多いように思います。ただでさえ物事を忘れやすい人間は、どのような工夫をしたら効率良く短時間で暗記することができるのでしょうか？五感（目・耳・鼻・肌・味）を活用する暗記方法がとても効果的だと言われています。その中でも、音読はかなり効果的な記憶方法と言われています。音読は、口から出した音を聞く（聴覚）と目で文章を見る（視覚）の2つを使った暗記方法になります。普通に黙読だけで覚えようとする場合は、視覚しか使いません。音読の場合は視覚と聴覚の2つを使うことになります。これだけでも覚えるのに要する時間は短縮されると言われています。できるだけ多くの感覚を使って記憶をしていくことが短時間で覚えるコツになります。また、一度解いた問題をテスト形式で解き直すことが大切です。覚えたことの確認の場がテスト本番というのは避けるべきです。テスト前日には、新しいことを勉強するよりも、一度解いたワークや問題集、プリント、過去問などを見直し、本当に理解できているか確認するために、もう一度解き直してみることが大切です。その時に、テスト形式で時間を計測しながら問題を解き直すとテストの予行演習にもなるので、テスト本番でも力が発揮しやすくなります。

本日の午前中には「教育長が生徒の話を聴く会」を行いました。また、教育長職務代理者の吉竹主税教育委員さんと丹波市教育委員会学校教育課尾松副課長も参加されました。短時間ではありましたが、2年生の生徒に対して「すべてのこどもがワクワクしながら毎日登校してくる学校」とは授業をしていただきました。自分にとって幸せなことは・・・ 自分の得意なことは・・・ 自分の好きなことは・・・

